

平成30年 教育委員会

第22回 定例会 議事日程

平成30年12月25日（火）午後3時

第1 報 告

【 子ども総務課 】

（1）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 有識者意見

【 子育て推進課 】

（1）平成30年度 認可保育所整備・運営事業者募集の概要

【 指導課 】

（1）いじめ、不登校、適応指導教室の利用状況（11月）

第2 その他

【 子ども総務課 】

（1）教育委員会行事予定表

（2）広報千代田（1月5日号）掲載事項

平成30年度
教育に関する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価
有識者意見

明石要一（千葉敬愛短期大学）

麴町中学校の改革は刺激的である。数多くあるが、以下の3点だけに限定して意見を述べる。

1点目は、AI（人工知能）で数学の学習がどこまで可能か、という未来の学習スタイルを導入し検証していることである。これは、AIと共存できる学び方、教え方を開発しようとする意欲的な試みである。10年後の教科指導の半分以上が、AIにとって代わると予測できる。そうになると、教師の仕事の範囲も変わってくる。当然働き方も変わらざるを得ない。

2点目は、子どもの生きる力を本気で育てようとしていることである。すなわち、地頭（じあたま）を鍛え、自立心を身につけさせることである。また、学校行事のような特別活動にも本格的に取り組んでいる。例えば、修学旅行の実施方法を抜本的に見直している。3泊4日の京都・奈良の修学旅行であれば、「祖父母たちのハッピーな1泊2日の京都の旅を企画する」という目的意識を持たせ、取材旅行とも言える現地調査を兼ねさせている。単なる物見遊山に終わらせていないところがいい。

3点目は、学級担任制を廃止し、学年の教員がチームとして生徒に臨んでいることである。学級担任制を廃止することは、相当抵抗があったであろう。医学の世界では当たり前であった「チーム医療」の精神を、学級経営に導入しているのである。

改革の途上であるが、今後、麴町中学校がどう伸びていくか注目したい。

また、新しい保育所を視察した。教会の跡地を利用したすばらしい保育園であった。5階建ての空間をうまく利用している。幼児がのびのび過ごせる工夫をしていた。期待できる施設である。

湯川嘉津美(上智大学)

平成 30 年度の点検・評価事業について検討した結果、いずれの事業も計画に即して着実に実施されており、達成度も高い水準にあると判断する。また、事務の管理執行も適正になされている。なかでも、千代田区が「待機児童ゼロ対策」として取り組んでいる保育所や学童クラブに関する事業、子どもの遊び場確保の取り組み、代替園庭利用の公園・児童遊園の整備については高く評価することができる。以下では、今後の事業展開に期待することを述べて、意見としたい。

(1) 子どもの遊び場確保の取り組みについて

子どもの遊び場確保の取り組みとして、現在、8 か所の公園や旧小学校・中学校の土地等を活用した「子どもの遊び場事業」が実施されている。子どもが外で安全にのびのびと遊べる環境を整備することは喫緊の課題であるが、千代田区ではプレーリーダーを配置し、ボール遊びもできる遊び場事業に力を入れており、その取り組みは高く評価できる。ただし、利用時間の制限があり、また、平日の利用が難しいため、参加人数はそれほど多くない。子どもがいつでも自由に外遊びを楽しむことのできる環境の整備にさらに力を入れる必要がある。ふじみこどもひろばは、一部を保育所の代替園庭としており、これについては十分な活用がなされているが、全体として高額の借用料に見合う利用実績とはなっておらず、運用方法のさらなる工夫と P R に力を入れて、十分な活用がなされるようにしていただきたい。

(2) 保育所に関する事業について

保育所については、私立認可保育所の整備や保育の質を高めるための講演会・学習会、巡回指導、現場研修が実施されている。今日、保育所の数の確保はもとより、保育の質の向上が大きな課題になっており、千代田区における保育士を対象とした研修等の実施は評価できる。ただし、その実施回数はまだ十分ではなく、すべての保育士に研修の機会を確保するための継続的な取り組みが求められる。

また、園庭のない私立保育所等が代替園庭として利用している公園や児童遊園の整備、ふじみこどもひろばにおける代替園庭の確保などの取り組みも行われている。園児が安心して遊べる遊び場の整備に今後も努めていただきたい。

(3) 中学校教育改革について

麴町中学校における教育改革の取り組みについて、校長より学校経営方針の

説明を受け、校内を参観した。校長の強力なリーダーシップのもとで、大胆な改革が進められており、それは今日の学校教育に社会が求めているものを最大限に実現する画期的な試みといえる。地の利を生かした外部人材の活用により、生徒は社会で活躍する様々な職種の人々と直に接し、大きな刺激を受けていると思われる。また、新築の校舎の環境を生かして、様々な教育実践が展開されており、それらは全国の学校教育改革のモデルとなるものといえよう。

そうした麴町中学校における教育改革の試みを十分評価した上で、ここでは若干の気になった点をあげておきたい。まず、学校が社会の要請を強く意識しすぎると、学校教育が産業界（企業社会）で必要とされるスキルの修得に重きを置くものになってしまうのではないか、という危惧を抱いた。ビジネス手帳の活用やノートの取り方の指導、思考ツールを身に付けるスキルアップのためのワークショップ、修学旅行をツアー企画取材旅行とするなど、子どもの自律性の育成がともすると実社会で役に立つ力、実社会で生き抜く力のみに傾斜することの問題もあるのではないかと感じた。また、麴町中学校が提供する多様な学びの機会、それ自体として素晴らしいものであるが、生徒をして、用意されたものの中から興味のあるものを選択すればよい、という受け身の姿勢にならせないとも限らない。いずれにしても、今後の麴町中学校の教育改革の動向と成果を注意深く見守っていく必要があると思われる。

□ 点検・評価結果

今年度の点検・評価の対象事業は、「遊び場の確保」、「保育の質向上」、「学童クラブ・放課後活動の充実」、「発達障害児への対応」、「いじめ」、「ICT 教育」、「国際教育」等の 10 事業が選択されており、いずれも目標に沿って執行されていると評価できる。

今年開設した「二番町ちとせ保育園」を視察したが、良好な保育環境で受入人数も多く（定員 100 名）、共働き世帯にとって心強い施設である。近年、保育施設は迷惑施設と捉えられ、特に住宅地では新たな建設が難しいと聞く。地域への丁寧な説明、粘り強い交渉によって、高まる保育ニーズに応えていただきたい。

なお、点検・評価事業の選定にあたっては、極力理由・基準等が明示されることが望ましい。全てに定量的な基準を示すのは難しいかもしれないが、選定事業が適切であることを示すデータ、課題背景の説明があると、区民の理解もさらに深まるのではないかと思料する。（蛇足だが、今回選定されている事業が不適切という意味ではない）

□ 麴町中学校の「自律性」を育む学校改革

3 年前に九段中等教育学校及び神田一橋中学校における ICT を活用したアクティブラーニングを視察したが、今年訪問した麴町中学校の学校改革はさらに目を見張るものであった。校長の強いリーダーシップのもと、「学校の目的－学校は何のためにあるのか」に照らし、手段が目的化していると判断されるものを徹底的に見直し、改革につなげているのである。

麴町中学校では、中学生の時期を社会人になるための準備期間と位置づけ、社会で活躍するために不可欠な「自律性」をキーワードに、必要なスキル・能力を身に付けられるようさまざまな工夫を行っている。固定担任制の廃止、定期テスト・宿題の廃止、生徒による行事の自主運営。それだけを聞くと非常にセンセーショナルだが、あくまでこれらは自律性を伸ばす手段であり、周到的準備・設計のもと進められている。

例えば、固定担任制の廃止に替えて、新たに「チーム医療」型を企図した学年経営の体制を敷いている。「固定担任－生徒」という閉じた図式から一步踏み出すことで、生徒は学級の問題を担任のせいにせず自分ごととして解決に動くようになり、各教員は全てを一人で抱え込まず、対応すべき課題についてチームで相談しつつ、適切な教員が対応するようになっているとのことである。この体制により、生徒の自律性が育まれるとともに、教員にもゆとりが生まれ、双方に

とって良い成果につながっているようである。

また、麴町中学校の生徒は「言語や情報を使いこなす能力」、「自分をコントロールする能力」、「多様な集団の中で協働できる能力」の修得を目標としているが、これらはまさに社会人として必要とされる能力である。特に「協働の学び」で行われている「スキルアップ宿泊（思考ツールを身に付けるワークショップ）」は、企業の研修プログラムさながらで、中学生には難しい課題ではないかと思えるが、専門家のファシリテートにより問題なく取り組めているようである。

自身の子育て経験において、中学生は「子ども」と「大人」の間にあって不安定な部分があり、接するのが難しい時期であった。しかし、麴町中学校のように、学校全体で生徒をケアしながらも「子ども」扱いせず、成長を促す仕組みがあれば、社会に対する安心感・大人への信頼感が生まれ、「世の中まんざらでもない！大人って結構素敵だ！（同校パンフレットより）」と全ての生徒たちが思えるようになるのではないか。まさに未来を担う社会人としての礎が築かれるのである。

麴町中学校の校訓は「進取の気性」とのことだが、先進的な取り組み・改革の成果はぜひ、麴町中から千代田区全体へ、千代田区から東京都へ、東京都から全国へ、と展開していただきたい。

□ 教員の勤務時間の長時間化防止

教員が対応すべき施策・事項の増加に伴い、教員の勤務時間も長時間化している。中央教育審議会でも、民間企業と同様、時間外労働の上限を設けるなど対策を打ち出そうとしているところである。

長時間勤務はそれ自体が心身の健康を脅かし、本来、時間をかけるべき業務に時間を割けなくなってしまう恐れがある。麴町中学校では、会議の削減、情報共有の工夫により教員が優先度の高い業務の時間を確保していると聞いた。

長時間化を防ぐにはさまざまな方策があるが、各種会議や管理資料の作成等の事務の削減が必須である。麴町中学校の学校改革のように「手段が目的化していないか」の観点に立ち、効率化・簡素化（もしくは止める）を図る、本当に必要なものに絞るといった取り組みをしていただきたい。

昨年度、本稿で「教育現場の負荷軽減」を申し上げたが、引き続き、教育の最先端を担う教員が心身ともに余裕をもって子どもたちと接することができる環境整備をお願いしたい。

1. 視察対象となった施設に関連する点検及び評価事項について

(1) ふじみこどもひろば

第1回会議では、今年度の評価対象となっている「子どもの遊び場確保の取り組み」、「代替園庭利用の公園・児童遊園の整備」に関連して、利用可能な区有地・遊休地などを活用して整備された遊び場の1つである「ふじみこどもひろば」を視察した。同ひろばは、ボール遊びやラケットを使っの遊び、自転車の練習や縄跳びなどに利用ができるだけでなく、深めの柔らかい人工芝で整備された乳幼児広場を併設するなど、都心部に居住する子ども達にとって貴重な空間を提供している。土・日、祝日の終日に利用可能となっているが、昨年度1,800名余の利用実績があるほか、平日午前中には近隣の保育所の代替園庭としてするなど、利用を進める工夫もされている。

熱中症対策もされているが、その分、利用を中止せざるを得ない状況が増加し、利用時間に制限を設けざるをえない。気象変動の影響ゆえ、やむをえないとはいえ、利用時間を早めるなどの工夫ができないか検討してほしい。また、「子どもの遊び場」として整備されている各施設に配置されるプレーリーダーや見守りの方々の資格、研修等を通じた質の維持にも十分配慮いただきたい。

(2) 千代田区立麴町中学校

第2回会議では、「特色ある教育活動」、「個に応じた指導の充実」、「ICT教育の推進」、「国際教育の推進」などに関連して、千代田区立麴町中学校を視察した。

施設見学や同校校長との意見交換を通じて、①明確化し、重点化された目的の下、校長のリーダーシップとボトムアップの両面を活かした学校運営が行われ、それが業務改善にもつながっている点、②麴町という地の利を活かし、企業のCSR活動と教科教育・特別活動を連携させたカリキュラム・マネジメントを行なっている点、③ICTを個別学習に有効に使っている点、などが印象に残った。このような取り組みの継続性の確保、あるいは他の学校との情報交換機会の確保などに期待したい。

なお、ICT教育を推進する際に、単に機械を使うことができるようになるだけでなく、どのように使うのか、とりわけ著作権に関する意識を高める指導にも配慮をお願いしたい。

(3) 二番町ちとせ保育園

第2回会議では、「公立・私立園の連携強化」と関連して、二番町ちとせ保育園の視察も行なった。開園まもない施設ではあるが、入所状況も順調なようで、「保育の質を高める」という共育推進計画で定めた目標に資する施設になっていくことが期待できる。

また、「保育の質を高める」ための施策として、「ふじみこどもひろば」でも述べた代替園庭の整備や、保育士に対する研修機会の提供が行われている。代替園庭については、警察OBによる公園安全指導員の配置による安全の確保に取り組まれているが、実際の人数、配置状況等の情報を元にした点検・評価も必要ではないかと感じられた。また、保育士に対する研修機会の確保についても、保育者支援協会との連携など工夫されているところだが、その効果の検証にも目を向けて良いのではないかと思われた。

2. その他、点検・評価活動全般について

まず、本区の点検・評価の基本方針を示した「平成30年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施」において、「個別の事務事業の点検及び評価は、共育推進計画で定めた目標に沿って行う」ことが明記された。この点は昨年度、評価者が指摘した、「これまで以上に点検・評価を実質化し、第三者からみても客観的で妥当な評価がなされていると判断できるようにするために、関係者で次年度に向けて『目標』の位置付けや他の項目の記述方法などについて再確認する必要がある」との指摘に対応したものと考えられる。点検・評価活動の充実に向けて外部の意見を真摯に受け止める姿勢の現れとして評価できる。

他方、点検・評価の根拠となるデータについては、予算の執行率や事業実績など、取組に関する指標が中心となっている。しかし、それぞれの事業が共育推進計画で定めた目標に近づけているかどうかを測るためには、やはりそれぞれの事業実績の結果生じた変化に着目する必要があるのではないだろうか。有識者会議において、そのようなデータを拝見したい。その際、新規にデータを収集するのではなく、学校園その他の施設等の現場から上がってくる報告、統計資料等の中に、活用できるものがないか、ぜひ確認をお願いしたい。

目標が「共育推進計画で定めた」ものとして明確になった。今後は、それを評価するためのデータとして、取組に関するものと、成果に関するものとの両面から点検・評価が行われれば、本区の点検・評価活動の一層の充実につながると思われる。

平成 30 年度 認可保育所整備・運営事業者募集の概要

1 公募の主旨

待機児童ゼロ維持のために平成 32 年度以降においても認可保育所の開設を継続する必要があることから、公募を実施する。

2 公募スケジュール（予定）

公募開始	平成 31 年 1 月 7 日
応募申込書類提出締め切り	平成 31 年 2 月 28 日
運営企画書類提出締め切り	平成 31 年 3 月 18 日
審査・選定	平成 31 年 4 月下旬

3 公募の要件

定 員	50 名以上	開 設 時 期	平成 32 年 4 月 1 日又は 10 月 1 日
神田地域 (下線の地域を重点地域とし、総得点数を 1.2 倍とする)	神田錦町一～三丁目、神田小川町一～三丁目、神田美土代町、内神田一～三丁目、神田司町二丁目、神田多町二丁目、神田鍛冶町三丁目、神田駿河台一～四丁目、神田淡路町一～二丁目、神田須田町一丁目、外神田一～六丁目、 <u>鍛冶町一・二丁目、神田紺屋町、神田北乗物町、神田富山町、神田美倉町、岩本町一～三丁目、神田西福田町、</u> <u>神田須田町二丁目、神田東松下町、神田東紺屋町</u> <u>神田岩本町、東神田一～三丁目、神田和泉町、</u> <u>神田佐久間町一～四丁目、神田平河町、神田松永町、</u> <u>神田花岡町、神田佐久間河岸、神田練堀町、神田相生町</u>		1 所程度
実績要件	平成 30 年 12 月 1 日現在、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県、静岡県、山梨県において認可保育所、認定こども園（保育所型）または東京都認証保育所 A 型のいずれかを直営で 3 年以上運営している法人		
経済基盤	①保育所運営に必要な経費を保有していること（家賃 2 年分+運営費 1 月分） ②決算期が 3 期以上経過し、かつ、直近 3 期で連続して損失を計上していないこと。 ③直近期で債務超過になっていないこと。		

※今回の公募は、平成 32 年 4 月開所の提案を最優先で採用します。

4 地域への説明

(1) 説明範囲

- ・ 保育所の計画物件（既存物件の場合に限る）の入居者
- ・ 保育所の計画予定地の同一区画内に存する建物の所有者及び入居者
- ・ 計画予定地と5メートル以内の幅員の公道又は私道を挟んで向かい合う敷地に存する建物の所有者及び入居者

(2) 説明方法

説明方法は、面談を原則とし、面談ができない場合は、次の内容を記した資料を配布すること。

- ・ 公募に応募すること

※応募の段階であり、設置者・運営者として選定されない場合がある旨を必ず記載すること。

- ・ 施設名称（仮称）
- ・ 開設に係る法人担当者氏名・連絡先
- ・ 建設予定地住所、フロア
- ・ 建物の概要
- ・ 定員（各歳児別、総合計）
- ・ 駐車場の有無
- ・ 駐輪スペースの有無（台数も記載すること）

5 前回公募との変更点

・ 募集地域

平成32年4月開所は、麴町地域が2か所、神田地域は1か所の予定である。

しかしながら神田地域、特に和泉橋出張所地域は依然として保育需要が高いため、今回は神田地域に絞って緊急的に公募を実施する。

和泉橋出張所管内を重点地域とし、同地域に隣接する万世橋出張所及び神田公園出張所地域も公募地域とする。

いじめ、不登校、適応指導教室の状況(平成30年11月末の報告)

教 育 委 員 会 資 料
平 成 3 0 年 1 2 月 2 5 日
指 導 課

校種	学年	いじめ報告数			不登校者数			適応指導教室利用数	
		今月 未解消	今年度 解消(転出含む)	今年度 累計	今月 不登校者	今年度 学校復帰 (転出含む)	今年度 累計	今月 利用数	先月 利用数
小 学 校	1年	1	1	2					
	2年		1	1	2		2		
	3年		4	4	4 (+2)		4		
	4年	4	2	6	5		5		
	5年	7	3	10	4	1	5	1	1
	6年	4 (+1)	1	5	8 (+1)		8		
中・中 等(前期)	1年	1	3	4	6 (+2)		6		
	2年				6		6		
	3年	1 (+1)	1	2	16 (+1)		16	1	1
中 等(後期)	4年				2 (+1)		2		
	5年				1		1		
	6年				4 (+1)		4		
計	合計	18 (+2)	16	34	58 (+8)	1	59	2	2

教育委員会行事予定表

教育委員会資料
平成30年12月25日
子ども総務課

※ ◎印は教育委員出席予定行事 / ○教育長出席予定行事

月	日	曜	時刻	場 所 等	行 事 (事 業 名)	備 考
12	25	火	15:00～	教育委員会室（子ども総務課）	教育委員会第22回定例会◎ 終業式	教育委員出席
12	26	水	11:00～	あい・ぽーと麹町	読み聞かせ	
12	27	木	10:30～	西神田児童センター	ベビーダンス	
12	28	金				
12	29	土	9:00～	児童センター・児童館 西神田保育園	年末開館 年末保育	
12	30	日		西神田保育園	年末保育	
12	31	月				
1	1	火				
1	2	水				
1	3	木				
1	4	金	13:00～	いずみこどもプラザ	お正月あそび	
1	5	土	13:00～	いずみこどもプラザ	お正月あそび	
1	6	日				
1	7	月	10:00～ 13:30～	あい・ぽーと麹町 ホテルグランドパレス	リトミック（2クラス） 新年交歓会 ◎	教育委員出席
1	8	火	10:15～	西神田児童センター	始業式 親子体操	
1	9	水	11:00～	あい・ぽーと麹町	読み聞かせ	
1	10	木	10:00～ 10:00～	あい・ぽーと麹町 教育委員会室（子ども総務課）	ふれあい体操 校園長会	
1	11	金	10:30～ 10:30～	あい・ぽーと麹町 あい・ぽーと麹町（児童・家庭支援センター）	おやこdeえいご 子育てサポート利用会員登録説明会	
1	12	土	10:30～	西神田児童センター	親子70分「すっきりスプレー作り」	
1	13	日	9:00～	四番町児童館	日曜開放	
1	14	月	12:30～15:00 16:00～	ホテルニューオータニ 鶴（西）の間 会場未定（子ども総務課）	千代田区「成人の日のつどい」第1部式典：12:30～13:15 第2部祝賀パーティー：13:15～15:00 青少年委員会第9回定例会 *成人の日のつどい終了後	

教育委員会行事予定表

教育委員会資料
平成30年12月25日
子ども総務課

※ ◎印は教育委員出席予定行事 / ○教育長出席予定行事

月	日	曜	時刻	場 所 等	行 事（事 業 名）	備 考
1	15	火	11:00～	あい・ぽーと麹町	読み聞かせ	
1	16	水	9:00～ 10:45～ 14:00～	九段中等教育学校 神田児童館 あい・ぽーと麹町	適性検査出願受付①（～15：00） よちよちタイム「ベビー体操」 親子&キッズバレエ（3クラス）	
1	17	木	9:00～ 10:00～	九段中等教育学校 神田児童館	適性検査出願受付②（～15：00） ノーバディーズ・パーフェクト第1回（全6回）	
1	18	金				
1	19	土	13:00～ 13:00～ 14:00～	西神田児童センター 大妻女子大学（指導課） 四番町児童館	新年お楽しみ会 科学教育センター オープン参加教室 新年お楽しみ会	
1	20	日	9:00～	一番町児童館	日曜開放	
1	21	月	10:00～ 10:30～ 11:00～ 11:00～	あい・ぽーと麹町 神田児童館 九段中等教育学校 西神田児童センター	リトミック（2クラス） リラックスヨガ③第1回(全6回) 適性検査応募状況の発表 なかよしタイム「江上先生の親子リトミック」	
1	22	火	11:00～ 15:00～	西神田児童センター 教育委員会室（子ども総務課）	よちよちタイム「ベビーマッサージ」 教育委員会第1回定例会◎	教育委員出席
1	23	水	10:00～ 10:15～ 11:00～ 14:00～ 13:00～	西神田児童センター 神田児童館 あい・ぽーと麹町 神田児童館 文部科学省東館	親と子の絆プログラム「ベビープログラム」全4回 1・2歳児親子体操クラブ③第1回(全3回) 読み聞かせ 新年お楽しみ会 平成30年度 市町村教育委員研究協議会	教育委員出席
1	24	木	10:00～ 10:00～ 10:30～	神田児童館 あい・ぽーと麹町 西神田児童センター	ノーバディーズ・パーフェクト第2回(全6回) ふれあい体操 子育てひろば事業「親子リトミック」全6回	
1	25	金	10:30～ 10:45～ 14:00～	あい・ぽーと麹町 お茶の水小学校（指導課） あい・ぽーと麹町	おやこdeえいご お茶の水小学校研究発表会◎ ヘッドマッサージ	教育委員出席
1	26	土	13:00～ 14:00～ 16:45～	西神田児童センター 富士見わんぱくひろば 九段中等教育学校	かえっこバザール×アーティスト・イン・レジデンスエコを楽しむウキウキ かえっこ 新春もちつき大会 天体観望会⑧	
1	27	日	9:00～	神田児童館	日曜開放	
1	28	月	10:00～ 10:30～	あい・ぽーと麹町 神田児童館	親子ヨガ リラックスヨガ③第2回(全6回)	
1	29	火	11:00～	あい・ぽーと麹町	読み聞かせ	
1	30	水	10:00～ 10:15～ 14:00～	西神田児童センター 神田児童館 あい・ぽーと麹町	親と子の絆プログラム「ベビープログラム」全4回 1・2歳児親子体操クラブ③第2回(全3回) 親子&キッズバレエ（3クラス）	
1	31	木	10:00～ 10:30～	神田児童館 西神田児童センター	ノーバディーズ・パーフェクト第3回（全6回） 子育てひろば事業「親子リトミック」全6回	

「広報千代田」 1月5日号広報原稿一覧

子ども部・地域振興部（文化振興課、生涯学習・スポーツ課）17件

課	件 名	事 業 の 概 略	と き	会 場	主 催 者
			開催日・ 開催期間	住所は区立施設 以外のみ記入	区以外が主催の とき
1 子ども支援課	平成31年度区立保育園・こども園 非常勤保育士・看護師を募集	非常勤職員の募集	～平成31年2月28日		
2 児童・家庭支援センター	新年お楽しみ会	お正月遊びやゲームをする	1月19日(土)13時～15時30分	西神田児童センター 体育室	
3 児童・家庭支援センター	新年お楽しみ会	お正月にちなんだ楽しいゲームをする	1月23日(水)14時～15時30分	神田児童館 遊戯室	
4 児童・家庭支援センター	新年お楽しみ会	具だくさんのすいとんを食べ、お正月遊びを楽しむ	1月19日(土)14時～	四番町児童館	
5 富士見わんぱくひろば	新春もちつき大会	新しい年を迎え最初のイベント。 お餅について、食べる体験	1月26日(土)14時～16時30分	富士見わんぱくひろば	富士見わんぱくひろば
6 学務課	小・中学校入学予定のお子さんの保護者へ	区立小・中学校に入学する子どもの保護者へ就学通知を送付する旨のお知らせ			
7 九段中等教育学校	九段中等教育学校 適性検査	平成31年4月に入学を希望する児童を対象に適性検査を行う。	出願＝1月16日・17日9時～15時、適性検査＝2月3日9時～12時15分	九段中等教育学校	九段中等教育学校

「広報千代田」 1月5日号広報原稿一覧

子ども部・地域振興部（文化振興課、生涯学習・スポーツ課）17件

課	件 名	事 業 の 概 略	と き	会 場	主催者
			開催日・ 開催期間	住所は区立施設 以外のみ記入	区以外が主催の とき
8 文化振興課	特別研究室企画展示 「広告で見る日本統治期台湾の 商業地」	内田嘉吉文庫所蔵の台湾関連本から日本統治期台湾の商業地を 紹介。	1月22日(火)～3月31日(日)	日比谷図書文 化館	日比谷図書文 化館
9 文化振興課	千代田・四番町図書館 おはなし会	毎月開催しているおはなし会 ①千代田図書館②四番町図書館	①1月10日(木)11時～②1月27日 (日)14時～、毎週金曜15時30分 ～・16時～	子ども室(区 役所10階)ほ か	千代田図書館
10 文化振興課	大人のための読書振興イベン ト・ワークショップ(仮)	こどもの読書活動を支援する大人のためのイベント	2月2日(土)1回目＝11時～、2回 目＝14時～	10階特設イベ ントスペース	千代田図書館
11 文化振興課	国立情報学研究所 市民講座「テ ラヘルツ電磁波の新展開」	テラヘルツ電磁波”（遠赤外線）の通信、バイオ、創薬、安全・ 安心分野などへの応用可能性について説明	1月23日(水)18時30分～19時45分	学術総合セン ター(一ツ橋 2-1-2)	国立情報学研 究所
12 文化振興課	第27回シーズンコンサート	「池田みさ子とオルケスタ・オルテンシア」によるコンサート	2月3日(日)16時～17時45分	内幸町ホール	
13 生涯学習・スポー ツ課	蔵王スキー講習会	中学生を除く15歳以上の区内在住・在勤・在学者を対象にス キー講習会を開催する。	3月7日(木)19時30分～10日(日)	蔵王温泉ス キー場(山形 県山形市)	千代田区体育 協会
14 生涯学習・スポー ツ課	「親子で楽しく宇宙を学ぶ」	屋上校庭では天体観察会、多目的ホールは移動式プラネタリウ ムで、満天に広がる星を楽しみながら、親子で楽しく星空を勉 強する	2月16日(土) 18時集合	昌平童夢館屋 上校庭・多目 的ホール	千代田区少年 少女指導者協 議会

「広報千代田」 1月5日号広報原稿一覧

子ども部・地域振興部（文化振興課、生涯学習・スポーツ課）17件

課	件 名	事 業 の 概 略	と き	会 場	主催者
			開催日・ 開催期間	住所は区立施設 以外のみ記入	区以外が主催の とき
15 生涯学習・スポーツ課	すぼすたちよだクラブ スタ ディプログラム	ハッピーハンドメイド「グルーデコ®アクセサリー」	2月22日(金)19時～20時30分	九段生涯学習 館	九段生涯学習 館
16 生涯学習・スポーツ課	九段LLカフェ講座 COTTON CLUBの音を聴け！	知らされるコットンクラブの裏側とライブ鑑賞に向けた気持ち の良い音の聞き方をコットンクラブマネージャーが直伝	2月27日(水)17時～20時30分	resonance (東京ビル TOKIA2階)	九段生涯学習 館
17 生涯学習・スポーツ課	ジュニアカレッジ アニメがで きるまで	テレビアニメ「新幹線変形ロボ シンカリオン」等、アニメ制 作の裏側	2月24日(日)14時～15時30分	九段生涯学習 館	九段生涯学習 館